

「第2次諫早市総合計画(案)」に対するパブリックコメントの募集結果について

1. 募集期間 平成27年12月25日(金)から平成28年1月14日(木)まで(21日間)
2. 募集方法 窓口提出、郵送、ファクシミリ、電子メール
3. 閲覧方法
  - ・市ホームページ掲載
  - ・市政策振興部企画政策課及び地方創生室(本館6階窓口)
  - ・各出張所(窓口)
  - ・各支所地域総務課(窓口)
4. 意見の件数 11件(7名)
5. 意見の反映状況

区分	対応内容	件数
A	・案に修正を加え反映させたもの	2
B	・案にすでに盛り込まれているもの ・案の考え方や姿勢に合致し、今後、具体的な対策を遂行する中で反映していくもの	9
C	・今後、検討していくもの	0
D	・反映が困難なもの	0
E	・その他	0

11

6. 提出された意見の要旨及び考え方

番号	町名	年齢	性別	意見要旨	区分	考え方	戦略と重複
1	—	—	男	市役所前にもかかわらず、閑散としたアーケード街について、現状認識と再生の意志があるのか。具体的な施策があまり見えない。 官民一体となった開発と再生策を原案にプラスして再構築されることを期待する。	B	アーケード街の活性化については、59ページの「施策の展開：商業基盤整備の促進」に市民・事業者・行政等が一体となって中心市街地の活性化を進める「中心市街地商業活性化支援事業」、「施策の展開：商店街の魅力づくり」に商店街のにぎわいを創出するため、商店街等によるイベントの支援や空き店舗の有効活用に取り組む「商店街にぎわい再生支援事業」として盛り込んでいます。 また、99ページの「施策の展開：市街地開発事業」に中心市街地の都市機能の高度化集積、定住人口の増加を図る再開発を促進するなど、商業集積地全体の機能を高め、商店街の活性化を図る「栄町東西街区第一種市街地再開発事業」とし、22ページの重点プロジェクト「プロジェクト5：新幹線開業を最大限に活かしたまちづくり」にも盛り込んでいます。	○
2	—	—	男	「計画実現に向けた基本姿勢」が「政策・施策」の章の中の1つの節になっており、2ページの図と合っていないと思う。1つの章として独立させた方がよい。 県総合計画案のように、計画をどのように推進していくかを書くべきではないか。	A	ご意見のとおり、同じ章で整理させていただいています。 行政内部の「政策・施策」については、計画を支える姿勢とのことで、分類するため「計画実現に向けた基本姿勢」としているものであり、同じ章での対応と考えておりますので、ご理解のほどお願いいたします。 計画をどのように推進していくかは、102ページの「市民目線の行政」に、 <b>計画の実現に向けて取り組みます。</b> と文言を追加して修正しました。 また、第4章の表題に「将来都市像を実現するための政策・施策・ <b>基本姿勢</b> 」と文言を追加して修正しました。 ※下線の文言を追加修正	
3	小長井	—	男	支所地域は、合併前のように道路整備がなされていないようだ。中心部だけではなく、支所地域も計画的な整備計画を立てる必要があるのでは。	B	支所地域の道路整備については、93ページの「施策の展開：生活基盤の整備」により安全で快適な生活環境の実現を目指し、市民の日常生活に密着した道路、水路、交通安全施設等の整備、小規模改良及び維持修繕などを図る「生活基盤整備事業(すみよか事業)」として盛り込んでいます。 また、95ページの「施策の展開：幹線道路網の整備」に地域の生活に密着した道路整備が安定的に実施されるよう道路整備を図る「道路交通円滑化の推進」にも盛り込んでいます。	

番号	町名	年齢	性別	意見要旨	区分	考え方	戦略と重複
4	小川	—	—	大村市は住宅を建てる際の規制がないので人口が増加しているようだ。諫早市も長崎県の中央に位置しているにもかかわらず、人口が減少しているのは、住宅を建てられる区域が限られているからだ聞いた。諫早市も住宅を建てる際の規制を大胆に撤廃することを検討されているのか。	B	規制緩和については、98ページの「施策の展開：土地利用の規制緩和と定住促進」に市街化調整区域の既存集落における地域コミュニティの維持を図るため、小さな拠点の概念を利用した土地利用を誘導する「市街化調整区域における土地利用の規制緩和」として盛り込んでいます。	
5				諫早市でハイキングコースなどの計画は検討されているのか。	B	ハイキングコースについては、90ページの「施策の展開：水と緑に親しむ暮らし」に多良山系及び諫早西部地区の丘陵地に広がる森林を活用して自然に親しみ、健康増進に寄与する「自然に親しむウォーキングコース等の整備」として盛り込んでいます。	
6	天満	52	女	大型商業施設の立地促進とあるが、久山にあるような規模では造っても魅力が無いので、イオンモールや鳥栖アウトレットプレミアムのような、大規模な商業施設を造ってほしい。 中途半端な施設だけはやめてほしい。	B	大型商業施設の立地促進については、63ページの「施策の展開：企業立地の促進」に大型商業施設の立地を促進し、さらなる交流人口の拡大や雇用の創出を図り、経済の活性化につなげる「大型商業施設の立地促進」として盛り込んでいます。 また、22ページの重点プロジェクト「プロジェクト3：産業基盤の充実による活力の創出」にも盛り込んでいます。	
7	—	40代	男	農作物のブランド化は、唐比レンコンや飯盛じゃがいもなど、旧町ごとに少なくとも一つ以上はあったほうがよいのでは。旧市のものもあったほうがよいと思う。	B	唐比レンコンや飯盛じゃがいもなどにつきましては、50ページの「施策の展開：高付加価値型農業の振興」の中の「産地拡大事業」に、既にブランド化されている農水産物と記載しており、その中に含まれているものとして考え、盛り込んでいます。	○
8				シティプロモーションについては、他人任せという感じがする。 諫早市として情報発信するという意識が不足していると思う。観光協会だけでなく自治会などの団体と連携して、情報を発信していくしくみが必要と思う。	B	他人任せという感じがするのご意見につきましては、104ページの「施策の展開：シティプロモーションの推進」において諫早市シティプロモーション戦略を諫早市として策定し推進していくものとして盛り込んでいます。 自治会などの団体と連携して、情報を発信していくしくみが必要ではのご意見につきましては、市内外で活躍する多様な人材や企業との連携を強め、情報や戦略を共有し、推進していきます。	
9				子ども・子育て支援については、親になる人達に向けた支援を早い段階でお知らせしていくことも必要だと思う。いまある制度がわかりにくいので不安である。また、虐待などへの予防策も必要と思う。	A	ご意見のとおり、早い段階でのお知らせについては、25ページの「施策の展開：子どもを産み育てる環境づくり」に <u>ウェブサイトを活用して子育て世帯のニーズに応じた情報を即時にわかりやすく発信する「子育て情報発信事業」として修正しました。</u> また、虐待などへの予防策については、27ページの「施策の展開：子育て・子育て支援」に <u>児童虐待などへの対応が必要な要保護児童や子どもの貧困問題等の課題に対し、適切な支援を行う「要保護児童・子どもの貧困対策」として修正しました。</u>  ※下線の文言を追加修正	
10				バスの路線図や料金体系がわかりにくいので、バスを使いたい気持ちがあっても選択肢にあげられない状態である。	B	ご指摘がありましたバスの路線図や料金体系がわかりにくいとのことにつきましては、関係事業者へも連絡することとし、96ページの「施策の展開：地域公共交通の整備」に効率的で利便性の高いバス路線への見直しにより利用者増を図ることで、市民の大切な移動手段を確保する「バス路線の見直しと確保」として盛り込んでいます。	

番号	町名	年齢	性別	意見要旨	区分	考え方	戦略と重複
11	多良見	75	男	<p>競技会ができるプール設備を整備していただきたい。 九州・県内の選手たちを諫早市へ呼び込むことを望む。</p>	B	<p>競技会ができるプール設備の整備については、35ページの「施策の展開：スポーツ拠点施設の整備」に、久山港埋立地スポーツ施設（野球場等）やサッカー場、テニス場など「スポーツ拠点施設整備事業」、快適にスポーツに親しむための「スポーツ競技施設整備・充実」として盛り込んでおり、今後、具体的な取組を検討するうえで、参考にさせていただきます。</p>	